

こころをつなぐ まちづくり



人権シリーズ vol.130

こんにちは 隣保館です

隣保館は、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、すべての市民が利用できる施設です。具体的な活動内容をご紹介します。

●相談活動

相談窓口として、生活相談、人権相談、教育相談、福祉相談など、あらゆる相談に応じています。ハローワークと連携して、就労相談もやっています。求人情報もあり、自由に閲覧することができます。

●隣保館主催の文化教室

受講生募集中です。詳しくは、隣保館にお問い合わせください。

教室名	開催日	開催時間
フォークダンス	第1・第3月曜日	午前10時～正午
絵手紙	第1・第3火曜日	午前9時～11時
絵手紙(初級)	第2・第4土曜日	
尺八	第1・第3火曜日	午後2時30分～5時
カラオケ	第2・第4木曜日	午後6時30分～9時
生花	第2・第4水曜日	午後7時30分～9時
女声コーラス	第2土曜日	午後3時30分～5時
	第4水曜日	午後7時30分～9時



▲コーラス

フォークダンス▼



生花▼



▲絵手紙

●デイサービス事業

高齢者向けの「元気アップ教室」や「ワハハの会」を行っています。



▲元気アップ教室



▲ワハハの会

●隣保館の施設

①人権啓発教材の貸出(貸出は無料です、期間は2週間以内)

視聴覚教材(ビデオ・DVD)、人権啓発書籍など多数あります。団体や企業の人権研修会や学習等に活用できます。

②機能訓練室

高齢者や障がい者が自立し、いきいきと生活ができるよう支援するため機能訓練室に血圧測定器やマッサージチェアなどがあります。

③貸館

ホールや会議室、和室等、市民の皆さんが研修会や懇談会に利用できます。利用料は無料です。(営利目的では利用できません。)

問い合わせ 国東市隣保館 武蔵町古市 ☎0978-68-1722

●第10回国東市隣保館まつり
「こころの川柳」課題《まつり》応募作品
お祭りが待ち遠しいと鳴く太鼓
安岐町 浅井 幸一
国東町 木村 弘

市長室からこんにちは

市長日記

No.70



国東市長 三河 明史

2月3日は、節分。その夜、9時過ぎに家に帰ると妻が、「豆を用意しているから来い」と。子供の時と違って返りに聞かないように小さい声で「福は内、良鬼も内、悪い鬼は外」と家の前と裏に豆をまいたのです。

すると今度は「恵方巻き」があるから食べて」と。誰がこんなことを考えたのでしょうか。こんな大きな巻き寿司一本を一息で食べることが出来たのか。それでも仰せのとおり、幾つかに切り分けたが、北北西に向かつて有り難く戴いたのです。

そのようにして邪気を払い、2月4日の立春を迎えたのです。当日は、正に春を思わせる明るい穏やかな、輝くような素晴らしい日になりました。

この夜は、国東半島に春を告げる「修正鬼会」が開かれました。国東市では、「修正鬼会」は、岩戸寺と成仏寺が隔年ごとに交互に行うのですが、今年は岩戸寺の番なのです。

夕方からお経が始まり、タイレン達が体を清めるために近くの川に入ります。体が切れるような寒さです。この地区も高齢化でタイレンが足りないという新聞記事になり話題を集めました。その後多くの方から応募があったそう

で、無事に行事が行われています。タイレン達は、大松明に火をつけて、あちこちの石垣などに燃える松明をぶつけながら講堂の方に担ぎあげています。二年前に比べてもお客様が飛躍的に多いようです。外国人や女性が目立ちます。それとお坊さん達も若い副住職が中心になりました。

「オー・ハヨライショワヨ」夜の岩戸寺の境内に声が響きます。今年は「鬼走り」も見ることができ、夜遅くまで多くの人で賑わいました。

そしてこの日は、もうひとつ春を告げる嬉しい行事がありました。銘酒「西の関」の蔵元さんの「立春を祝う会」です。「立春を祝う会」は、今年で6回目を迎えますが、深夜から杜氏さん達が新しい酒を搾り、火を通さないままの酒、即ち「生酒」を飲む会なのです。神官さんのお祓いを済ませたこの「生酒」は実に、香り高くかわわしい酒なのです。まだ、少し気泡が出ているような酒を、チェイサーを片手に飲むのです。お酒が好きな方にとっては何ともしません。行事なのです。

国東に春を告げる「修正鬼会」、「立春を祝う会」。いよいよ平成29年の春が本格的に国東にやって来ます。

図書館だより どくしょがいちばん!

難しいものばかりではありません

文字ばかりの本は苦手…、図書館は難しい本が多そう…、などの理由から図書館に足が向かない方はいませんか? 堅苦しいイメージもある図書館ですが、実は漫画もたくさんあるんです。その数、市内4館で約2000冊。昔流行った『あしたのジョー』や『ドカベン』から、近年映画化された『銀の匙』や『ちはやふる』、まもなく公開される『3月のライオン』まで幅広いジャンルが揃っています。なかなか本を読む気にならないという方も、ちょっとした気分転換にいかがですか?

問合先	
国見図書館	☎0978-82-1585
くにさき図書館	☎0978-72-3500
武蔵図書館	☎0978-69-0946
安岐図書館	☎0978-67-3551



▲ほんの一部。他にもまだまだあります。

司書のオススメ

『うさぎマンション』

のはな はるか/作 くもん出版/出版

うさぎマンションは屋上付きの5階建て。24の部屋があり、そこにはいろいろな職業のうさぎさんが暮らしています。学者に手品師、画家や探偵や音楽家、さらには魔法使いまで! ページをめくるとそれぞれ部屋の様子が少しずつ変化して、うさぎさん達が何をして過ごしているかがのぞけます。まずはお話を読んで、そのあとと一部屋ずつ見るのもよし、ページを行ったり来たりしながら見るのもよし。まるで宝探しのように、何度読んでも新しい発見がある素敵な絵本です。お子さんやお孫さんと一緒に楽しんでください。

図書館に寄つちよくね

Q.『夜のピクニック』や『六番目の小夜子』などの作品で知られる第156回直木三十五賞を受賞した女性作家といえ? 答えは図書館で!